

駅前都市計画の完成の見通しは

町長…平成20年度工事完了を目指しています。



関 幸悦 議員



今年度中の完成が見込まれる駅前広場

駅前広場は、工事車両も撤退し、ほぼ完成したように思われる。駅前町道・県道については、通勤通学されている方々、町外から来られた方は不便を余儀なくされている。一刻も早い完成を望まれる。完成の見通しは、町長 地権者をはじめ、関係者各位のご理解とご協力により計画どおり事業が進捗し、最終段階に入っているところで。

村山総合支庁北庁舎の見直しで、生活保護世帯の支援などを行っている福祉部門が寒河江に統合になった。町ではどのように対応しているのか。町長 移行した事務・事業の内容は、知的障害関係・母子福祉関係であり、申請事務や相談業務については町が窓口となつて県と連絡手続きをします。影響はないと考えています。



ギフチョウ、ヒメギフチョウの混生地（川前地区）

平成19年度末で80戸の家屋移転がすべて完了し、道路や駅前広場等の工事もほぼ完成する予定です。再質問 駅のトイレは狭く重苦しいと、多くの利用者から聞かれる。都市計画と並行して、トイレの改修の考えはないか。町長 財政状況を考えると、当面トイレの新設や改修は考えていません。

民有林をどのように把握しているのか。町長 管理が放棄され荒廃している民有林の整備や、県民参加による森づくりの財源として活用されるものです。整備は県事業として実施されますが、当町の整備面積は10年間で約156 haで、民有林の約6%です。

再質問 当町に配分される交付金はどのくらい見込んでいるのか。具体的な整備の施策は。町長 交付金として92万4千円の通知を受けております。今年度は、川前地区のギフチョウ等の生息環境保全事業と、虹ヶ丘周辺の景観保全事業として計画書を県に提出しております。



年間20万人が訪れる食の観光「新そばまつり」は4千食



青木 久子 議員

経済効果を生み出す観光行政の振興策は、既存の施設や伝統文化を活用し、積極的に推進すべし。大石田祭り、そばまつりのさらなる経済効果の上がる具体的な推進策は、町長 定住人口の確保が困難となつている今日、交流人口の増加には「観光振興」は経済効果の活性化を図る上で極めて有効な方策であると認識しています。町民各位層において、それぞれの立場で生きがいなり、経済的恩恵が得られるような工夫と積極性ある行動を期待するものです。

本町商店街振興会が主催で対応してきたが、諸般の事情から今回までとなつていきます。今後、町観光協会等関係団体の意向と活力を尊重しながら参画し対処していきます。舟下り運行の現実をどのように把握し、町としてどう対処しているのか。町長 平成16年4月に、「有限会社最上川大石田舟下り」が設立され、6月に運行を開始したものの、同年7月をもって突然運行を中断し、現在に至っています。

主としての責任で、事態の改善を図っていただきたいと願っています。交流人口の増加や町の活性化に向け、温泉・舟下り・そば・まつり等連携観光の売り込みや、「ふるさと応援事業団事業」の展開を積極的に進めよう。町長 町外の皆さんが応援したくなるような魅力ある町づくりが先決であります。検討を重ねます。

再質問 町内外の意見を集約できる「まちづくり協働推進係」窓口設置を。町長 行革推進プログラムの中で慎重に考えていきます。

花火大会へ10数万人の出入

連携観光の売り込みは積極的に進めよ
町長…町民の意向と活力を尊重しながら対処します。